JMFI NEWS
【ジェイエムエフアイ・ニュース】
JAPAN Material Flow Institute
No.10（2016年6月号）
発行●日本マテリアルフロー研究センター
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-47-6 ㈱流通研究社内
TEL●03-3988-2671／FAX●03-3980-6588
URL●http://www.mf-p.jp

社会的なサプライチェーン・物流の最適化を目指して

小池 勉◉文
JMFI／設立理事

◆やることは一杯…

早いもので，JMFIが法人格を得てから4か月が過ぎてしまいました。現在会員の募集作業，理事候補や会長候補の選任作業，ホームページの作成，規定類の整備等々やらなければならない仕事が多々あります。

しかし，どのように焦っても簡単に成し遂げられる仕事はありませんので，一歩一歩作り上げていくことだと実感しています。

第一に，会員の入会促進です。社団法人は会員で組織されますので，会員の募集が一番大事な仕事となります。そこで会員募集のための，いろいろな作業を進めております。会員を募集するには，

①この法人の設立目的，趣旨が明確であること
②この法人の，既存の他の法人との違いを明確にすること
③この法人に入会しようとする企業の活躍の場を明確に打ち出すこと
④この法人に入会しようとする企業のメリットを提供できること

などが挙げられます。

先般，JMFIの活動と流通研究社の位置づけを右図のようにまとめました。

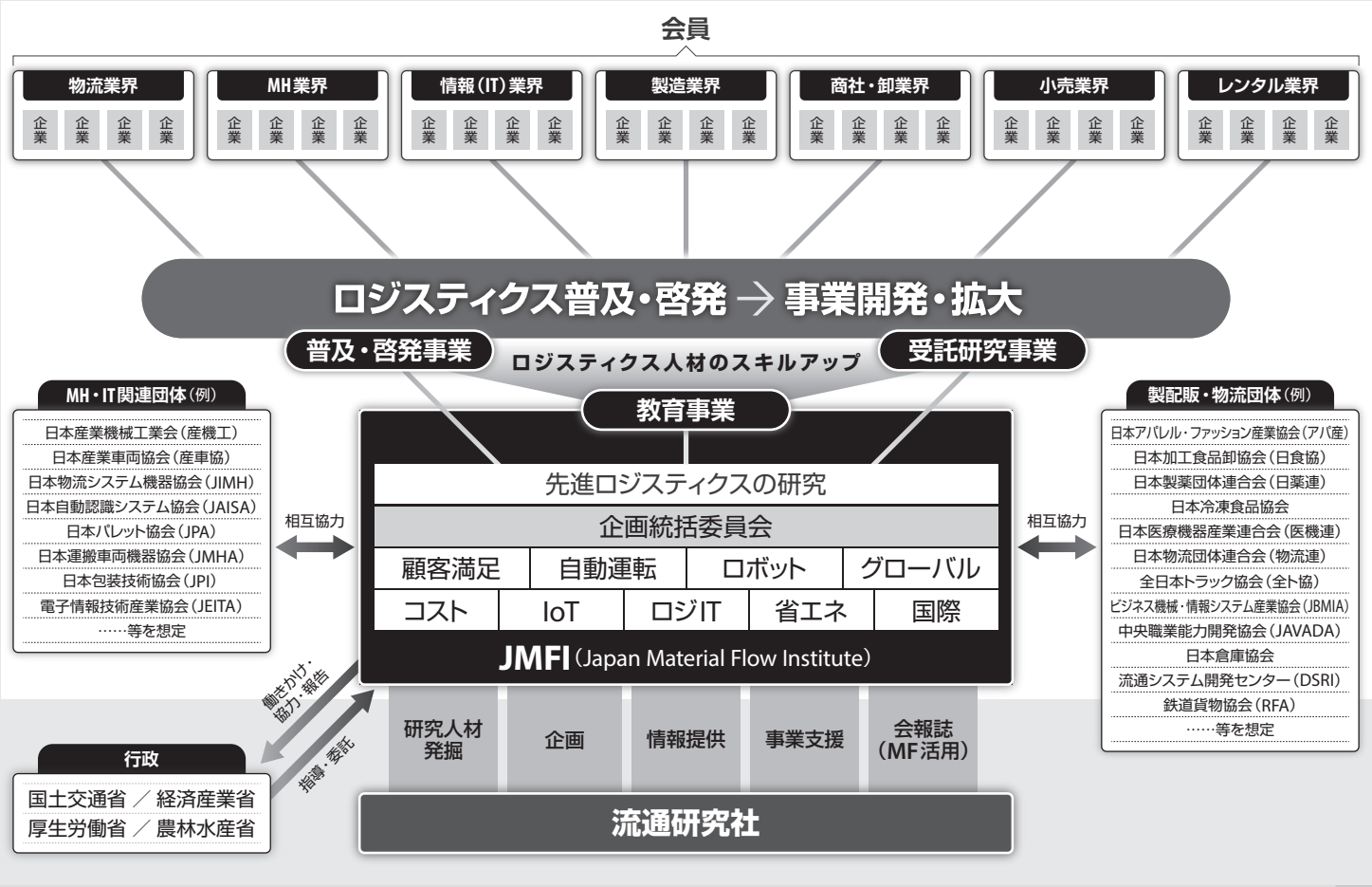
◆JMFIの活動目的

JMFIは，流通研究社がこれまで一出版社として行ってきた事業のうち，研究，統計調査，教育，標準化など公益的な活動等をより効率的に行う団体となることを目指して法人格を取得しました。

流通研究社は出版に関する事業を行い，JMFIは物流の普及啓発など公益性の高い事業に関する事業を行います。

JMFIは，ロジスティクスが抱える課題の《環境》《対災害強靭化》《労働力不足》《見える化》《標準化》《コスト管理・顧客満足》《先端技術》等

●JMFIの活動と流通研究社



の解決のための研究活動を行います。現在，JMFIの活動目的として，

①社会的なサプライチェーン・物流の最適化を目指して

②製配販の荷主企業，エンドユーザーのニーズを起点に

③物流・ICT・マテハンなど先端技術・サービスを駆使して

④関連省庁の進める政策，関連団体・学界の取り組みと連動し

⑤オールジャパン体制による協働研究・人材教育推進のプラットフォームとして

活動することを掲げようと考えています。

◆JMFIの核となる研究会について

JMFIは，ロジスティクスが抱える課題の《環境》《対災害強靭化》《労働力不足》《見える化》《標準化》《コスト管理・顧客満足》《先端技術》等の解決のための以下のような研究活動を行います。

《環境》物流に係わる環境負荷の低減

- 省エネルギー，省電力・小エネルギーシステム研究
- モーダルシフト推進

《対災害強靭化》災害対応ロジスティクスの再構築

- 非常時の支援物資供給，指揮・管理体制
- 自治体関係者の基礎的物流教育
- BCPとの連携

【労働力不足】物流分野における労働力不足対策

- 自動化，省人化の推進
- 物流関連業界のイメージ向上

【見える化】IoT，クラウド，AIなどICTを活用した高粒度の物流見える化

- リアルタイム見える化による物流リソースの有効活用
- シェアリングロジスティクスの実現

【標準化】サプライチェーンを一貫する物流標準化

- 輸送荷姿とパレット，コンテナなど物流機材，トラックなど輸送機関の寸法モジュール化，整合化
- 物流に伴う情報通信システムの標準化

【コスト管理・顧客満足】コスト構造の見える化，物流における顧客満足の追及

【先端技術】ロボティクス，マテハン，自動運転，AIなど先端技術の活用による物流管理高度化・省人化

これらの研究会は，理事会の議決により必要とされた研究テーマで設置します。

研究成果は，物流学会等への報告，マテリアルフロー誌への投稿，会員向けセミナーや一般セミナーで紹介するなどの活動につなぎ，ロジスティクスの人材教育・スキルアップにも活かすことを目指します。これによって会員企業の事業開発や事業拡大への貢献を，実現したいと考えています。 MF